

---

1～4年次後期・選択

2単位・30時間

---

**【概要・目的】**

看護師に心理学は特に必要ではない。心理学は教育・医療・福祉の対人援助職に必須で、例えば社会福祉士の場合は「心理学理論と心理的支援」という必修科目の出席状況まで厚生労働省に報告せねばならない。心理的ケアは公認心理師や臨床心理士という専門職に任せる方が無難である。それにもかかわらず心理学を学ぶ意義があるとすれば、キャリアアップを目指す場合であろう。勿論、単に「4年制大学ならでは」の勉強をしたいだけでも十分な動機である。

**【到達目標】**

- 1) キャリア形成に心理学を組み込むことができる。
- 2) 心理学に関する「雑学」的な誤謬を、科学的知見や哲学的・倫理的洞察で退けられることができる。

**【授業内容のスケジュール】**

- 1) 知覚
- 2) 認知
- 3) 言語・思考・判断(part 1)
- 4) 言語・思考・判断(part 2)
- 5) 記憶
- 6) 学習
- 7) 発達
- 8) パーソナリティと個人差
- 9) 情動と動機づけ
- 10) ストレスと健康
- 11) 対人援助職のための心理学入門
- 12) 心理学的な俗説の誤謬に関する啓蒙書であるリリエンフェルドら(2010/2014)を読む
- 13) リリエンフェルドらの著作に関するディスカッション
- 14) 「顔」に関するエヴィデンス・ベースの心理学の著作トドロフ(2017/2019)を読む
- 15) トドロフの著作に関するディスカッション

**【評価】**

テキストブック・レビュー 60点満点：2冊の心理学テキスト(有斐閣 vs 講談社)を比較して、来年度のテキストを提案。A4用紙4-6枚で、授業内容に触れながら論じること。所謂「夏休みの宿題」に相当する。9月最初の授業回に提出する。

ディスカッション・ペーパー(事前2通・事後1通) 事前各10点・事後20点計40点満点：一般向け専門書2冊を講読する授業でのクラス・ディスカッションの準備と考察を記す。

※定期試験は実施されない。この科目は選択科目であるため、再試験も実施されない。

**【教科書】全て必携**

- 鈴木ら「対人援助と心のケアに活かす心理学」 有斐閣 2017  
檜村・野村(編著)「医療系のための心理学」 講談社 2020  
リリエンフェルドら(著)「本当は間違っている心理学の話」 化学同人 2014  
アレクサンダー・トドロフ「第一印象の科学」 みすず書房 2019

**【推薦参考図書】**

第1回配布予定の授業進行用シラバスを参照のこと。

**【その他】**

授業に関する質問などは、「オフィスアワー」時間帯(研究室ドアに掲示)でしか対応できない。